

屋外タンク貯蔵所構造設備明細書

事業の概要		タンクローリーから屋外貯蔵タンクに貯蔵し、別申請「製造所」へ危険物を供給する。			
貯蔵する危険物の概要		引火点	70	貯蔵温度	常温
基礎、据付方法の概要		鉄筋コンクリート造高さ2mの基礎をめぐらし、中央部は砂じめを行いタンクを固定する。			
タンクの構造、設備	形状	円筒型縦置		常圧・加圧( kPa)	
	寸法	内径7,100mm、高さ5,500mm		容量	$\frac{200}{(容積\ 216\ k\ell)}$ Kℓ
	材質、板厚	鋼板製SS400 底板9mm、側板6mm、屋根板4.5mm			
	通気管	種別	数	内径又は作動圧	
		無弁通気管	1	100 mm kPa	
	安全装置	種別	数	作動圧	
				kPa	
液量表示装置	フロート式液面計	引火防止装置	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無		
不活性気体の封入設備		タンク保温材の概要			
注入口の位置	ポンプ室西側	注入口付近の接地電極	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無		
防油堤	構造	容量	排水設備		
	鉄筋コンクリート造 高さ1,000・厚さ200mm	250k・	堤内設置の貯留設備から金属管により堤外設置の油分離装置へ排水する。		
ポンプ設備の概要	オイルポンプ2基(OC-505-M1.5)による自動交互運転				
避雷設備	JIS A 4201 突針1本				
配管	圧力配管用炭素鋼鋼管(JIS G 3454)を使用し、接合部は電気溶接、錆止め塗装				
消火設備	第4種粉末消火器 20kg×1本 第5種粉末消火器 6kg×2本	タンクの加熱設備			
工事請負者住所氏名	札幌市南区真駒内幸町 丁目 設備株式会社 代表取締役 (担当者) 電話 -				

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。